

2013年7月19日(金)「リーダーシップ」 (医療人類学講義)

主担当：梅崎昌裕

●リーダーシップの定義

自己の理念や価値観に基づいて、魅力ある目標を設定し、またその実現体制を構築し、人々の意欲を高め成長させながら、課題や障害を解決する行動。(グロービス MBA 経営辞書)

集団になんらかの目標を設定し、集団を統率しつつ、その課題を遂行・先導する能力やその過程。リーダーシップは、古来、指導者の資質の問題に関心が集中されてきた。〈うそ〉をも駆使して集団成員を操作する能力や、集団成員の自発的服従を調達する〈徳〉などが論じられるのがそれである。(百科事典マイペディア)

集団をまとめながらその目的に向かって導いていく機能。もともとはリーダー個人が有する能力と考えられていた。この考え方に立つならば、リーダーシップを有するリーダーは、どんな集団においても強力なリーダーシップを発揮できることになる。しかし実際には、ある集団でリーダーシップを発揮できたリーダーが、別の集団ではうまくリーダーシップが発揮できないということも珍しくない。こうした研究が進むにつれ、リーダーシップとは個人の能力のことではなく、集団が持つ機能のことであり、その集団で有効なリーダーシップスタイルはメンバー構成によって決まったり、集団がおかれた状況によって決まるという考え方が主流になっている。(ナビゲート ビジネス基本用語集)

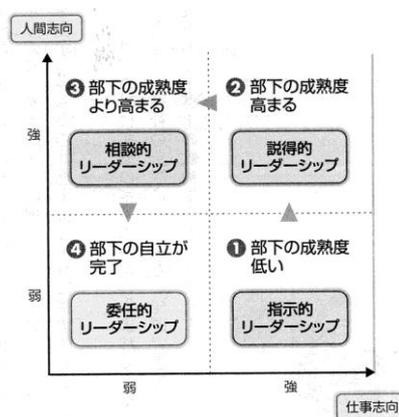
●世の中でリーダーシップ論が大流行!

・織田信長に学ぶ? 松下幸之助に学ぶ? 落合博満に学ぶ?

・リーダーシップ講座の盛況: コミュニケーション能力、ビジョン、自分の信念、決断力、目標達成のための行動力などなど。。。

・MBA を取得してリーダーを目指す?

・カルロス・ゴーンの報酬 10 億円。



● 人類集団にみられるリーダーシップの形態

・実力主義（財産）：パプアニューギニア高地社会～面倒見が良く、冠婚葬祭にはブタを抛出して、喧嘩する人がいればそれを仲裁するような人が信望を集めることにより、ビッグマンとなる。ブタを抛出するために、複数の女性と結婚する。奥さんたちにやきもちを妬かせないような甲斐性も必要。

・実力主義（経営能力）：中国農村社会～高学歴で経営能力のある若いリーダーが、ほとんどの場合は村外から移住し、形式的な選挙により村のリーダーとして選ばれる。彼／彼女は、村民から村の全ての資源と権限に委任され、経営をおこなう。たとえば、それまで稲作を行ってきた土地を企業に貸し、土地の賃貸料収入で利益をあげたり、都市住民の好む作物を栽培し、その販売によって利益をあげる。ただし、経営に失敗すると、村を追われる。

・長老制（年齢階梯）：ケニア・ナンディー（東アフリカ社会）～人びとは実力ではなく、年齢の権威にしたがう。死亡しない限り、誰でも長老となり人びとを支配することが可能である。15年に一度、階梯（少年、戦士見習い、戦士、若年寄、長老、最長老）を移行する。戦士見習いと戦士は、村はずれにキャンプを張り共同生活をしながら、戦いの訓練をし、隣の部族からウシを略奪し団結を学ぶ。

・世襲制：トンガの首長制～兄弟では兄が弟より上の猪飼を占め、これは子孫にも伝わっていく。だから長男の長男を通じて形成された系が最も高い系となる。出自集団のなかで最も高い系の長男が首長となる。同様の出自集団の重層的な関係を通じて、首長間にも格の差が形成され、社会全体が秩序づけられる。

・秘儀的な知識の所有：パプアニューギニア・テワーダ～日常生活のさまざまな場面ごとにリーダー（グレートマン）が存在する。村外集団との戦争の場面、村の中での争いを収める場面、集団漁の場面、魚毒漁の場面、葬式の場面など、それぞれの場面で必要な秘儀的な知識を所有する人がグレートマンであるとみなされる。秘儀的な知識は、それぞれの場面のグレートマンから次世代のグレートマンへと伝えられる。ただし、リーダーシップは人に付随しているのではなく、知識そのものに付随するものである。